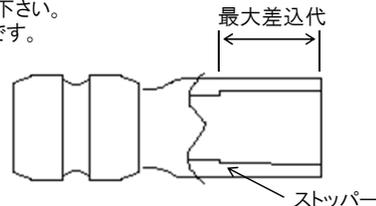


接続手順

接続手順	注意事項
1. 接着剤塗布面清掃	とくに油分、水分は注意して拭いて下さい。
2. マーキング	最大差込代の長さは下記の通りです。 HIVP20A用:35mm, HIVP16A用:30mm HIVP13A用:26mm
3. 差込代の確認	ゼロポイントの位置がおかしい物に関しては使用しないで下さい。
4. 継手接着剤塗布	接着剤の付け過ぎには十分注意下さい。接着剤が継手内部のOリングに付着しますと漏水の原因となります。
5. パイプ接着剤塗布	接着剤は、差込代よりはみ出さないよう注意下さい。
6. パイプの挿入	挿入後、すぐに力を抜くとパイプが戻るため、そのままの状態でも最低30秒は保持して下さい。

施工および保管上の注意

- 塩ビパイプは、ゼロポイントからストッパーまでの長さの1/3以上は挿入して下さい。パイプが入りにくかったり、ストッパーまで簡単に入ってしまう物に関しては使用しないで下さい。
- 接着剤は耐衝撃性硬質塩化ビニル用接着剤をご使用下さい。また、接着剤の使用については、接着剤メーカーの取扱説明書に従ってください。
- 塩ビパイプの挿入は必ず手で行って下さい。
- 塩ビパイプを接着後、はみ出した接着剤は拭き取って下さい。また、接合部には力を加えることなく2時間以上養生して下さい。
- 塩ビパイプが1成分形シーリング材と接触すると可塑性や非反応性高沸点希釈剤の成分により破損の恐れがあります。1成分形シーリング材を使用する場合は、シーリング材メーカーへお問合せ下さい。
- 塩ビパイプ挿入後、継手にPBパイプを挿入するまでは異物が進入しないように継手を養生して下さい。養生の際にテープを使用する場合は、粘着材が残らない様に必ず除去して下さい。
- 本継手は、給水用配管部材です。給湯用としては、絶対に使用しないで下さい。
- 本継手を屋外や車中で保管すると、直射日光や高温環境により、変形や寸法異常が発生する恐れがありますのでご注意ください。
- 継手に過度な曲げ荷重を加えないで下さい。継手破損の危険性があります。
- 土中やコンクリートへの埋設をする場合は、継手部分の養生を行って下さい。直埋設は禁止です。
- 1)アセトン、シンナー、クレンザー、殺虫剤、シロアリ防除剤などの有機化合物は、継手の材質に悪影響を及ぼす恐れがあります。吹き付けたり、塗ったりしないで下さい。尚、継手が浅く埋設されている場合、上記物質を地面にこぼすと、地中に浸透する事によって継手が侵される場合があるので十分に注意して下さい。
- 塩ビパイプを継手の外側に接着することは禁止です。
- 継手を切断して使用しないで下さい。
- プッシュマスター継手に接続するパイプは、カットマークが印刷されている「ブリヂストンのポリブテンパイプ」をご使用下さい。
- 樹脂ポリブテンパイプの接続作業については、プッシュマスターの『パイプ接続手順・注意』をご参照下さい。



接続手順

接続手順	注意事項
1. 接着剤塗布面清掃	とくに油分、水分は注意して拭いて下さい。
2. マーキング	最大差込代の長さは下記の通りです。 HIVP20A用:35mm, HIVP16A用:30mm HIVP13A用:26mm
3. 差込代の確認	ゼロポイントの位置がおかしい物に関しては使用しないで下さい。
4. 継手接着剤塗布	接着剤の付け過ぎには十分注意下さい。接着剤が継手内部のOリングに付着しますと漏水の原因となります。
5. パイプ接着剤塗布	接着剤は、差込代よりはみ出さないよう注意下さい。
6. パイプの挿入	挿入後、すぐに力を抜くとパイプが戻るため、そのままの状態でも最低30秒は保持して下さい。

施工および保管上の注意

- 塩ビパイプは、ゼロポイントからストッパーまでの長さの1/3以上は挿入して下さい。パイプが入りにくかったり、ストッパーまで簡単に入ってしまう物に関しては使用しないで下さい。
- 接着剤は耐衝撃性硬質塩化ビニル用接着剤をご使用下さい。また、接着剤の使用については、接着剤メーカーの取扱説明書に従ってください。
- 塩ビパイプの挿入は必ず手で行って下さい。
- 塩ビパイプを接着後、はみ出した接着剤は拭き取って下さい。また、接合部には力を加えることなく2時間以上養生して下さい。
- 塩ビパイプが1成分形シーリング材と接触すると可塑性や非反応性高沸点希釈剤の成分により破損の恐れがあります。1成分形シーリング材を使用する場合は、シーリング材メーカーへお問合せ下さい。
- 塩ビパイプ挿入後、継手にPBパイプを挿入するまでは異物が進入しないように継手を養生して下さい。養生の際にテープを使用する場合は、粘着材が残らない様に必ず除去して下さい。
- 本継手は、給水用配管部材です。給湯用としては、絶対に使用しないで下さい。
- 本継手を屋外や車中で保管すると、直射日光や高温環境により、変形や寸法異常が発生する恐れがありますのでご注意ください。
- 継手に過度な曲げ荷重を加えないで下さい。継手破損の危険性があります。
- 土中やコンクリートへの埋設をする場合は、継手部分の養生を行って下さい。直埋設は禁止です。
- 1)アセトン、シンナー、クレンザー、殺虫剤、シロアリ防除剤などの有機化合物は、継手の材質に悪影響を及ぼす恐れがあります。吹き付けたり、塗ったりしないで下さい。尚、継手が浅く埋設されている場合、上記物質を地面にこぼすと、地中に浸透する事によって継手が侵される場合があるので十分に注意して下さい。
- 塩ビパイプを継手の外側に接着することは禁止です。
- 継手を切断して使用しないで下さい。
- プッシュマスター継手に接続するパイプは、カットマークが印刷されている「ブリヂストンのポリブテンパイプ」をご使用下さい。
- 樹脂ポリブテンパイプの接続作業については、プッシュマスターの『パイプ接続手順・注意』をご参照下さい。

